

小学生版

あたらしい児童書

NO. 323 2026. 7. 1

遠軽町図書館
遠軽町大通南4丁目
TEL42-3632
FAX49-2102

本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。
小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

『つちぐものジュース』北川 佳奈／作

・昔から知られているおばけを今の時代にアレンジしたお話と、作者のオリジナルのお話の、2つのおばけ話を楽しめる本。「つちぐものジュース」「ちょっとぶきみなちよ先生」を収録する。(小初)



『おばけのソッチ キャン・キャン・キャンディー!』角野 栄子／さく

・おばけのソッチは歌うのが大好き。でもソッチの声は、なんだか背中がぞくぞくとする、ちょっと変わった声。歌のうまいヒロくと学芸会に出たくて、声がよくなるキャンディー作りに挑戦しますが…。(小初)



『しょうがっこうの、いやなところ…』山本 悦子／作

・学校でもやもやを抱えていて「はやくおうちにかえりたい」1年生のかりん。ある日、ロッカーと壁のあいだから出られなくなっているたかとくんを助けてあげますが、それから、たかとくんはかくれんぼ名人になってしまっ…。(小初)



『がっこうのおばけずかん おばけじゅぎょうさんかん』

斉藤 洋／作

・がっこうには、こわ～いおばけがいっぱいいます。でも、このお話を読めば、だいじょうぶ!「ようかいおかしもち」「こくばんくし」「おばけじゅぎょうさんかん」など、がっこうのこわいおばけの話全7話を収録。
(小初)



『もしかしてキセキ』なかがわ ちひろ／作

・一平くんのクラスに、メキシコから転校生がやってきた。名前はカルロスくん。お互いの言葉はわからないけれど、ふたりはなぜか通じあって…。一平くんの大切な出会いを描いた物語。一平くんシリーズ第4弾。(小初)



『としょしつのざしきわらし』北川 チハル／作

・昔から知られているおばけを今の時代にアレンジしたお話と、作者のオリジナルのお話の、2つのおばけ話を楽しめる本。「としょしつのざしきわらし」「くらやみどうぶつえん」を収録する。(小初)



『ドリームサーカスとひみつの夜』かんの ゆうこ／作

・ぼくは学習発表会の劇で主役になれない。自分に自信をもてない小3の光太は、夜の公園で「ドリームサーカス」に出会い、あこがれのサーカスに挑戦することに…。「自分の心の声をきく」勇気をくれる美しいファンタジー童話。
(小中)



『あの子が一番』 朝比奈 あすか／作

・小学4年生の安東あかりは足が速く、絵も上手で、成績も良い。去年まではクラスのリーダー的存在だったが、同じクラスになった「まこっちゃん」こと青山真琴にはかなわない。あかりは、まこっちゃんを追い落とそうとするが…。(小中)



『ミオよ、わたしのミオ』 アストリッド・リンドグレン／作

・冷たい養父母のもと、孤独な日々をおくる少年ボッセ。ある日、迎えにきた魔人と共に、パパの王さまが暮らす<はるかな国>へと旅立つ。王子ミオとしての幸せな毎日に、残酷な騎士カートの影が…。切なく胸に迫るファンタジー。(小中)



『音符がいっぱい』 まはら 三桃／作

・おとなしくて目立たない男子の朝日が、音楽発表会で指揮者をするようになった! 高齢な代理の担任・森田先生と、頼れる女子リーダーの彩加と共に、学級崩壊の危機を乗り越え、音楽発表会の演奏を成功させられるのか?(小上)



『うちのクラスに天才子役』 吉野 万理子／作

・6年A組の転校生は、ドラマに映画に大活躍の超人気俳優。「うれしすぎる!」「友だちになれたりするのかな」「どうせ学校行事になんて興味ないんでしょ」…。 “あの子”にまつわるクラスメイトたちの15の話を収録。(小上)



『万丸食堂、奇跡のソフトクリーム』 山本 悦子／著

・万丸食堂の10段重ねのソフトクリームを食べると、もう二度と会えないはずの人に会えたり、信じられないようなことが起こったりするという噂が…。実在する大食堂から生まれたファンタジー。『日本児童文学』連載を加筆改稿。(小上)



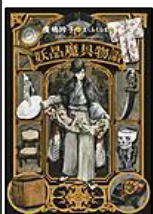
『給食のおばちゃん 食べるのは苦手』 山口 恵以子／作

・伝説の管理栄養士として知られる昼間明子。全国の小学校をめぐる、ご当地の食材を使った美味しい給食を考え…。問題をかかえる子どもたちに、おばちゃんが「給食」をとおして向き合っていく連作短編。(小上)



『妖品魔具物語』 廣嶋 玲子／作

・人の怨念を吸いこんだ紅色小花の晴れ着、呪いの短剣、人間の欲を煽る扇子、猛獣使いの首飾り…。妖品に心奪われたとき、運命は破滅へとむかいます。妖しく美しい品々にまつわる不気味で不思議な物語9篇を収録。妖魔シリーズ。(小上、中)



『ぼくがぼくであるために』 蒼沼 洋人／作

・女の子みたいと言われる男子中学生・アキ。“男らしく”ありたいと思っていたアキだが、友人・眉村のある言葉に、信じるべきものを見失いはじめ…。本当に大切なものは何かを知っていく物語。(小上、中、高)

